

宮城環境アドバイザー現地検討会の開催（東部・気仙沼管内）

平成28年10月13日(木)と24日(月)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。淀川（石巻市十八成）、青野沢川・只越川（気仙沼市唐桑）における環境配慮について、県から説明・報告し、環境アドバイザーの高取先生（仙台市科学館）から意見をいただきました。

検討会の様子



青野沢川（気仙沼市唐桑）



只越川（気仙沼市唐桑）



淀川（石巻市十八成）

アドバイザーからの主な意見

只越川

- 現在の流水部を出来る限り触らずに残せるよう検討をしていただきたい。河床の仕上げは平坦に均さず、凹凸をつけるようにしていただきたい。河床の浮石が魚類（カンキョウカジカ）にとって重要である。



カンキョウカジカ
（宮城県RDB：絶滅危惧種Ⅰ類）

淀川

- 河床の仕上がりは将来、良い河床になる出来栄である。切り廻しを行っている水路も多くの魚類を確認することが出来てすばらしく思う。これからも同様に施工を進めていただきたい。

※上記、アドバイザーより意見をいただいた箇所については、環境に配慮した施工を実施していきます。